

## 会 議 録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成30年度第1回定例会
開催日時	平成30年5月17日（木）午後3時から5時まで
開催場所	中央図書館会議室
出席者	委員：小西会長、鈴木副会長、西村委員、山口委員、増田委員、山村委員、渡邊委員、 （欠席）山辺委員、藤澤委員、東山委員 事務局：中川館長、司城副館長、奈良庶務係長
傍聴者	なし
議 題	1 諸報告 2 平成30年度図書館事業計画について 3 利用者アンケート調査について 4 第1回図書館計画策定懇談会の報告について 5 その他
会議資料の名称	資料1 図書館協議会委員名簿 資料2 図書館協議会開催日程 資料3 西東京市図書館の運営体制のあり方について（提言） 資料4 平成30年度西東京市図書館事業計画・実施事業 資料5 図書館利用者アンケート調査報告
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p><u>1 諸報告</u></p> <p>○会長 諸報告を館長お願いします。</p> <p>○館長 学校長の異動に伴い委員の交代があったので報告します。 （渡邊委員紹介）</p> <p>○館長 資料3「図書館の運営体制のあり方について（提言）」を首脳部会議、教育委員会に配布。今後、議員に配布予定。 3月議会報告。図書館計画策定懇談会について、新座市との相互利用に伴う負担金の交渉経過等についての質問。新年度予算については、市の財政が厳しいことから地域資料の電子化の縮減等を行い、前年度より削減。 中央図書館・田無公民館対応方針について、市民説明会を5月26日開催。来年度は基本設計、32年度実施設計、33年度工事等実施、34年度再開予定。 総合教育会議が5月15日開催。図書館の関係する重点施策としては「子どもの居場所の充実」となる。</p> <p>○委員 耐震補強工事を行う間は図書館が使えないのですか。</p>	

- 館長 空調機器の入れ替えや梁の入れ替え工事に伴う振動や騒音等、利用するのに支障があるので、その期間は使用できないと思うが、休館中、予約本の受取りを別な場所で行うなどの代替案も考えていきます。
- 会長 1年閉館することは利用者の負担が大きくなるので、工期の短縮を図るよう努力してほしい。南大泉図書館が水害で休館した時は、返却と他館からの取り寄せはしていたので、西東京市でも何らかの措置を取るべき。休館については随時報告をお願いします。子どもの居場所の図書館の関わりについて、行政の重点施策は予算項目と連動している考えるが、図書館で予算措置されているのですか。
- 館長 予算措置はされていません。

## 2 平成30年度西東京市図書館事業計画について

- 会長 事業計画の説明をお願いします。
- 館長 毎年の事業評価については次回の会議にお示しし、評価をお願いしたい。重点事業については図書館計画の策定と中央図書館・田無公民館の耐震補強等の検討の2事業です。実施事業の主なものは、10 YAサービスの推進、12 ハンディキャップの7多文化、多言語の拡大、14 子ども読書活動推進計画の中間報告作成、11 地域・行政資料の電子化は、資料の利用、提供の環境の整備検討を進める、16 職員研修等の充実を図るなどです。

## 3 利用者アンケート調査について

- 会長 利用者アンケートの調査報告をお願いします。
- 副館長 資料5の説明。  
次期計画策定に向けた資料として使用する。60歳以上が41%、満足及びやや満足が81.9%、不満な点はゆっくり読むスペースの不足、新刊書が少ない。発行物については、図書館だよりのカラー化により認知度が上がっているが、それ以外はあまり周知されていない。中央図書館のコーナー作りの認知度が低い。大活字本への要望が多い。宅配サービスへの期待が大きいなど。
- 会長 質問ありますか。
- 副会長 回答者数が前より減っているが、調査期間が短かったのではないか。アンケートの回収の仕方について改善すべき。
- 委員 アンケートを実施しているのに知らない利用者が多かったので改善すべき。取り上げて欲しいジャンルのコーナーを作っているのに、反応が少ないのをどう分析しているのですか。
- 副館長 中央館のみで実施しているものが多いためではないかと考えます。
- 委員 他の館でもアピールする必要があると思います。もっと広がるといい。
- 会長 自分の行きつけの館の評価になりがちで全体の評価をするのは難しい。
- 館長 年代別、館別の分析をすると他の視点が見えてくると思います。
- 委員 発行物についても年齢によって違ってくると思います。
- 会長 この調査結果をどのように生かすか、年齢別で分けるなど、細分化し検討するとよいと思います。
- 委員 教育計画のアンケートにもビジネス支援に関して聞いていると思うが、認知度は低かったのではないか。

- 副会長 図書館の利用が読み物という感じが多く、調べ学習に使われていない。
- 委員 学校図書館と使い方が違うと思います。
- 会長 大活字本に対する需要の分析が必要です。また、館内でサポートしてくれる職員を望む意見には、声が掛けやすい職員の配置をお金や人員を増やすのではなく工夫して取り組むべきでしょう。机の問題と勉強したいという問題への取組みとしては、保谷駅前図書館のロビーの学習スペースは利用率が高いので、あのような形も必要。
- 委員 大活字本の出版は限られた出版社ということですか。
- 館長 いくつかあります。出版される本も、リング製本、オンデマンド出版も対応している出版社もあり、白黒反転した印刷のものもあるなど、以前より利用しやすくなっています。
- 会長 折に触れてこのアンケートを利用していきたい。

#### 4 第1回図書館計画策定懇談会について

- 館長 懇談会では、中央図書館の機能、地域館の役割なども含め、この先10年程度の図書館施策について、これからの期待を共有して進めて欲しいとお伝えしています。図書館の課題や年間スケジュール、年内にパブリックコメントを実施する予定等をお話しています。次の協議会が7月なので、それまでに懇談会は4回の実施となるので本日ご意見を頂きたい。
- 委員 白紙の状態を進めるのは大変ということで図書館から資料を提出してもらうことになっています。協議会と懇談会の位置関係がわかりにくいとの意見がありました。
- 会長 現計画を雛形と考えていいのか。
- 館長 前回の計画は基本計画と展望計画の10年間としていますが、次期計画の事業計画は5年間としますが、方向性は中長期な方針を示すことを考えています。
- 会長 20万都市にふさわしい中央図書館のあり方となると、調布市のような図書館になります。計画に特徴を持たせる、資料について単に資料を維持するというようなことではなく、年度ごとに分野に分けて重点的に収集するとか、方策を考えることが大事です。図書館を支援してくれる人を増やす視点が必要です。
- 副会長 図書館は一人で利用できる場所。図書館が情報のみを提供する場所ではないことを説明することは難しいです。
- 会長 図書館利用は市民調査では60%、でも登録率は20%。これは数字の取り方、使い方にあります。代位価値という視点で考えると、図書館利用によってもたらされる価値は直接的な価値だけでなく、二次的価値を見ることができる考え方があり、登録率だけでは図書館評価をしてはいけません。本日はこれで終わります。

次回は7月19日（木）午後3時～